

いちごの疫病に、優れた効きめ!!

園芸用
新殺菌剤

ランマン[®] フロアブル

農林水産省登録
第20624号



イチゴ疫病菌の一種

Phytophthora nicotianae var.
parasitica



いちご・疫病

特 長

1. 疫病などの藻菌類病害に優れた防除効果。
2. 優れた予防効果。
3. 残効性と耐雨性に優れる。
4. 薬害の心配がない。
5. 果面の汚れが少ない。

イチゴ疫病の発生生態と発病条件

発生時期: 6月～11月

伝染源: 汚染土壌

伝染経路: 土壌伝染(水媒)

発生部位: クラウン部、根、葉

発病適温・湿度等発病条件: 28～30℃・多湿(降雨との関係大)



石原バイオサイエンス株式会社



いちご/疫病の防除に!



【有効成分】シアゾファミド…9.4% (普通物・A類相当)

《適用作物と使用方法》

作物	適用病害虫	希釈倍率	使用液量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
いちご	疫病	500倍	50ml/株	育苗期	土壌灌注	2回以内	4回以内 (育苗期は2回以内、 定植後は2回以内)
			100ml/株	生育期(但し、収穫 30日前まで)		2回以内	



疫病の発生生態

- 土壌伝染性の病害で、土壌中で生存し感染する。したがって、前年に発病した圃場に再び植付けると再発する可能性が高い。
- 本病は土壌伝染以外に、被害株に形成された遊走子が、降雨や灌水時の『水はね』により移動し広く伝染する。
- 感染の多い時期は、育苗期中の梅雨期～8,9月の高温多雨期。

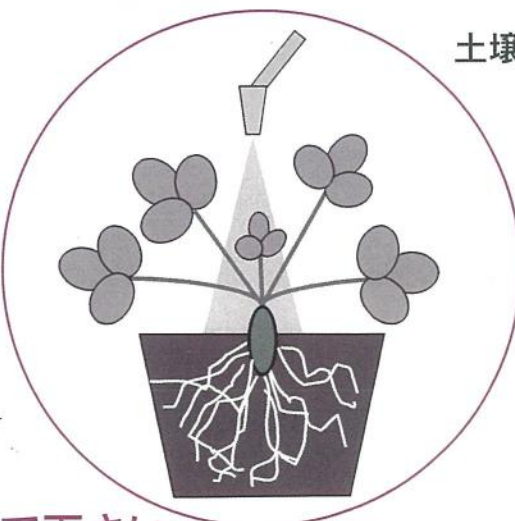
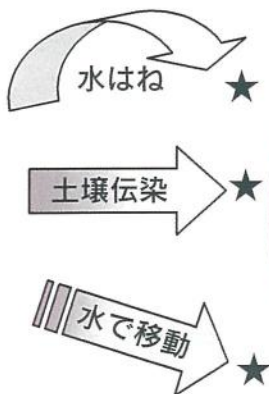


防除のポイント

ランマンで疫病ブロック!!

発病株

★; 病原菌



土壌灌注

※ 圃場全体への蔓延を阻止!
※ 苗から本圃への疫病持込を防止!

クラウン部分を中心に灌注して下さい。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載事項以外には使用しないでください。● 小児の手の届く場所には置かないでください。

空き瓶は圃場などに放置せず、3回以上水洗いし、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

ホームページ <http://www.iskweb.co.jp/ibj/>